

令和3年度協会支援事業助成団体・活動紹介（ボランティア活動支援事業事業）

● カルガモみどりの会（札幌市）

事業の実施概要・活動成果

2021年4月15日から10月2日までの21日間、毎週木曜日の午後1時30分から約1時間30分の活動を実施しました。

今年は新型コロナウイルスの影響で、児童会館が休館と、また人数制限があったため、参加者を3つの班に分けて、それぞれ5～6名で活動しました。



● 一般社団法人 札幌YWCA（札幌市）

事業の実施概要・活動成果

7月29日、8月24日、9月8日、9月21日、10月12日、10月13日、11月6日にコンサートを開催し、ほとんどが早々に満席となり、参加者は癒しの場を求めていることが分かりました。

また、新型コロナウイルス感染対策として参加人数を10名に制限したことで、参加者の方々は安心して参加されているようでした。

演奏家たちもコロナ禍で演奏の場を求めておりましたので、素晴らしさ機会を提供することができました。当初予定していた1月のコンサートはオミクロン株の影響により延期となりましたが、来年度も継続する予定です。



● 新琴似音楽祭実行委員会（札幌市）

事業の実施概要

「しんことにテレビ」は、企画、撮影、編集、発信などの番組制作や YouTube チャンネルの運営、公式ポータルサイトの管理を行っています。

また、新琴似地域の住民や団体、賛同者を対象にした動画配信講座も提供しています。

広報活動ではポスター、チラシ、回覧、地域機関誌、SNSなどを積極的に活用し、感染対策としてスタッフと協力者の接触回数を最小限にし、換気・消毒を徹底し、マスクやフェイスシールドの着用などの対策を行っています。

新型コロナウイルス感染状況の拡大にもかかわらず、私たちは感染対策を徹底しながら、番組の企画・撮影・編集・配信を実施してきました。番組では、新琴似の魅力を中心に地域の人々や出来事を紹介しています。感染リスクを考慮して取材先や制作方法を制限しなければならない状況下でも、スタッフのアイデアと地域の皆様のご協力と理解に支えられ、私たちの活動を通じて楽しく新琴似地域を知っていただける機会となりました。資金集めには苦労しましたが、今回のご支援により、住民主導の配信版コミュニティ放送局としての活動を継続するための環境整備を進めることができました。



● NPO 法人 ニャン友ネットワーク北海道（札幌市）

事業の実施概要・活動成果

Animal Total Care HAYA の落成とリニューアルオープンが順調に進んでいる一方、ドッグラン建設予定の敷地は何十年も放置されており、草刈りもできていませんでした。

しかし、当会のボランティアは企業に協力を要請し、草取りと合わせて簡単な生地を実現することができました。

企業の協力により、根こそぎ処理ができ、まだドッグランが整備されていないにもかかわらず、犬たちが来場できるようになりました。

イベント前日にはテントの組み立てや会場設営に従事し、イベント当日には車の誘導や来場者案内、消毒活動、チャリティバザーブースの運営を行い、HAYA のドッグラン建設募金を募りました。

会場ではペット用の防災手帳を無料配布し、厚真町の被災者と交流しました。ボランティアたちは感染予防に気をつけながら、90 日間の検討を振り返り、再び復興する風景に触れ、動物救済活動への意欲を高めていました。



● 一般社団法人 北海道美術館協力会（札幌市）

事業の実施概要・活動成果

近代美術館や三岸好太郎美術館などの常設展や特別展の開催に合わせて、ボランティア活動員が内部研修を受け、「見どころ・勘どころ」や作家の背景など多岐にわたる情報を調査し、作者や作品の解説を実施しています（受講者は負担なし）。

この取り組みにより、受講者の興味関心が引き出され、各美術館を訪れる動機づけや、当協力会主催の「各種美術講座」への参加、協力会の会員加入、ボランティア活動への参加希望などが促進されています。

今後も受講者の要望に応じ、美術に関する知識と教養を高める事業を推進していきます。



● 勇者の会（札幌市）

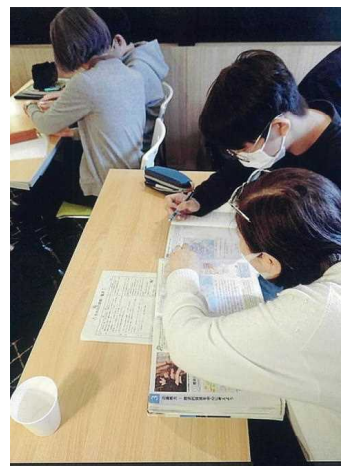
事業の実施概要・活動成果

オンライン学習の際、生徒の手元を映す方法に課題がありましたが、三脚とパソコン用の WEB カメラを活用することで改善しました。

また、幼児教育ではタブレットスタンドを使い、自宅でも一人でオンライン授業が可能になりました。

LINE を活用して学習のサポートをしていましたが、Zoom を導入し、パソコンを持つ生徒には LINE 電話から Zoom に切り替えてサポートしています。

冬休みの対面授業ではマスクを配布し、感染予防に努めたほか、コロナ禍のため対面で手渡しすることができない場合は、郵送してサポートしています。



● さわやかサロン（札幌市）

・事業の実施概要・活動成果

4月26日に上野幌中央会館で総会を開催し、軽い体操の後、総会資料とお弁当が配布しました。コロナの影響で交流が制限されている中、参加者たちは嬉しそうでした。5月と6月は蔓延防止のため活動が中止され、役員が各会員に電話をかけて近況や健康状態を確認しました。7月26日には24人が参加し、生活支援推進員の指導のもと、助け合い体験ゲームが行いました。8月は再び中止となり、近況や健康状態の確認は電話で行いました。9月27日には雪印種苗センター散策が開催され、28人が参加しました。10月25日には介護予防センターの指導者による体操が行い、29人が参加しました。11月8日はホテルで食事会を開催しました。11月にはへそヒーリングの体操指導も受けました。12月20日には音楽療法とクリスマス会を開催し、29人が参加しました。1月と2月は蔓延防止のため再び中止となり、電話で近況や健康状態を確認しました。



● ガールスカウト北海道第17団（札幌市）

・事業の実施概要・活動成果

感染症対策と意識啓発を目的としたワークショップを実施しました。

クイズ形式の活動では、ウイルスの生存期間やアルコール消毒液の適量などを楽しく学びました。

スタンプラリーでは、ソーシャルディスタンスや手洗いの重要性を体験し、自己の改善点に気付く機会を提供しました。

また、参加者がコロナ禍での困難や頑張りを共有し、心の寄り添いを促しました。ワークショップ全体を通じて、感染拡大防止のために自己の行動が重要であり、子どもたちが主体的に感染予防に取り組む意識を醸成しました。



● 江別車いすボランティア整備（道央圏 江別市）

事業の実施概要・活動成果

2021年4月1日から2021年12月31日までの現時点の車いすの整備実績は以下の通りです。

1. 江別市社会福祉協議会：2台
2. 介護老人福祉施設「静苑ホーム」：34台
3. ディサービスセンタ「友愛野幌」：8台
4. 介護老人保健施設「友愛ナーシングホーム」：8台
5. 住宅型有料老人ホーム「ダイアナ野幌」：9台

合計53台です。また、2022年3月31日までにはおおよそ71台の整備が予定しております。



● 一般社団法人 北海道ブックシェアリング（道央圏 江別市）

事業の実施概要・活動成果

えほんのばくりっこイベントは、複数の地域で実施されました。東区、ココルクえべつ、豊平区、白石区、北区、おおあさの各会場で開催され、予定された来場者は合計554人でした。交換された絵本の数は1,600冊で、参加ボランティアは24名でした。

全会場でのイベントは好評であり、上級学齢者向けの本の充実により、来場者のニーズに応えることができました。コロナ禍においても読書意欲の継続という目標を達成できたと手応えを感じています。



● 江別子ども劇場（道央圏 江別市）

事業の実施概要・活動成果

TOMO OFFICEの山口ともさんを招いて、ガラクタ音楽会を開催しました。

ガラクタで作られた楽器を使用し、身近な音や音楽を楽しむことができました。

多くの観客が参加し、会場も大いに盛り上がりました。



● あおむし人形劇団（道央圏 江別市）

事業の実施概要・活動成果

コロナの影響で公演依頼を受けていた子どもの健全育成事業や町内会の事業、学童などからの公演が延期や中止となりました。さらに、公共施設の休館や再開の繰り返しにより、当団の活動も一時的に休止状態が続きました。しかし、徐々に活動が再開され、練習や準備を進めることができました。



江別市民活動センターの取り組みにおいては、協力を得ながら動画撮影による配信や Zoom を活用した公演の視聴、人形劇の小道具を使った遊びなど、新たな形式での活動が行いました。また、感染症予防対策を実施しながらの公演や自治会主催の事業における公演も実現し、子どもたちと親御さんたちが楽しんで参加していただきました。

これらの活動は、秋から再開された公演に向けた準備や練習の成果であり、私たちにとって大きな喜びとなりました。次年度への公演準備活動にも取り組む予定であり、公演がない期間には新作の準備や練習を行っていきます。

● 江別わかもの応援ネットワーク（道央圏 江別市）

事業の実施概要・活動成果

コロナ禍での活動は対面開催が減少し、WEB やさっぽろ若者応援ネットワークとの合同開催に切り替えました。参加者は減りましたが、年間を通じて開催できたことで当事者やご家族から感謝の声をいただきました。野外イベントでは引きこもりの中高生が保護者なしで参加し、ワカサギ釣りや焚火を楽しみました。



年間6回の開催中、2回は対面と WEB 同時開催で、残りは全て WEB で行いました。統合失調症の当事者やご家族が初参加し、症状の緩和や生活の改善効果がありました。主治医からも問い合わせがあり、支援や協力を受けることができました。

来年度は医療機関や行政、教育機関との連携を強化し、幅広いニーズに応える予定です。

● 特定非営利活動法人 ジェルメ・まるしえ（道央圏 石狩市）

事業の実施概要・活動成果

まるくるこども CAFE は、2021年度で5年目を迎え、今年度は厳格な人数制限と感染対策を実施しながら4月から12月まで中断せずに運営しました（ただし、1月はスタッフ陽性者の発生、2月は暴風雪のため中止）。



NPO 法人ジェルメ・まるしえが運営母体であり、不登校やひきこもり支援を行っているため、不登校や病気・障害のある子供、一人親世帯の子供など、さまざまな背景を持つ子供や家族が利用しています。施設は学校や家庭以外の場所として位置づけられ、子供たちにとって居場所となっています。

助成金により、感染症対策に必要なゴム手袋やアルコールなどの準備ができました。これにより、子供たちが安心して利用できる環境で子供食堂を提供し続けることができました。どうもありがとうございました。

● こども SOS ほっかいどう（道央圏 当別町）

事業の実施概要・活動成果

児童虐待が過去最高に達しています。巣ごもりによる親子の孤立化が主な要因とされます。

当団体では「こども SOS ほっかいどう」という虐待相談窓口を設置し、インクルーシブな居場所（公園の休憩場所）を提供しています。

助成金により、コロナ感染対策として換気口交換、空気清浄機の設置、消毒、洗濯を行いました。



知的障害のある子供たちへの対策や、赤ちゃんや肢体不自由な子供たちの安心な環境づくりも重視しました。コロナ禍においても子供たちの安全を守るための対策を徹底し、助成金の支援が大きな励みになりました。

今年度は3密回避のためにアウトドアで自由に楽しめる環境を提供し、インクルーシブ公園の整備も行いました。子供たちがストレスを感じずに楽しめる場所として、笑顔と心の癒しを提供することができました。

● くっちゃん子ども子育て応援し隊 Popke Lab（道央圏 倶知安町）

事業の実施概要・活動成果

5月24日には、新生活子ども情報トークが16名の参加者を集めて開催しました。

6月18日には、お母さんのフィットネスを通じてパフォーマンス向上を目指すイベントが21名の参加者で行いました。

7月4日には、50名の参加者が集まり、新しい視点で子どもの問題を考える講演会が開催しました。

7月19日には、「学校に行きたくない！どうする？行き渋りの原因と対策を考えよう」というテーマで10名の参加者が参加したイベントが行いました。

8月1日には、安全な自転車の乗り方教室が30名の参加者で開催されました。同日には子どもエール飯も開催され、100名の参加者が集まりました。

9月から10月にはくっちゃん子育て MAP の制作が行い、10月には広報誌への配布が行いました。

10月18日にはオムツなし育児講座が30名の参加者で開催し、10月27日にはお下がり掘り出し市が160名の参加者で行いました。

11月13日にはお母さんのフィットネス vol.2が34名の参加者で開催し、12月6日には主婦のプロによる家計簿講座が14名の参加者で行いました。

12月20日には冬のわくわくコラボ企画「はたらく馬が百年の森にやってくる」が295名の参加者で開催されました。

最後に、1月24日にはアロマを使った体質分析のイベントが15名の参加者で行われました。



● ポップ食堂の会（道央圏 岩内町）

事業の実施概要・活動成果

1. 子ども食堂（20名定員・予約制・月1回手作りの食事提供）

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた回数を実施できませんでした。感染症対策を徹底し、集まった参加者とコミュニケーションを取ることができました。困難な状況にもかかわらず、対面での関係性を築くことができ、地域交流の場として継続していきたいと考えています。

2. 学習支援（中学生対象・月2回・おやつ提供）

中学生を対象に学習支援を行いました。新型コロナウイルス感染の影響でおやつ提供は行いませんでしたが、多くの中学生が集まり、放課後や長期休み中に勉強に取り組んでいました。今後も子どもたちが楽しく学べる場を提供し続けたいと考えています。

3. わくわく料理探検隊（冬・夏休みに料理に挑戦）

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年のわくわく料理探検隊は実施できませ

んでした。

● 岩内消費者協会（道央圏 岩内町）

事業の実施概要・活動成果

私たちは、消費者として、リサイクル運動、フリーマーケット、調査活動などに積極的に取り組んできました。特に、今年度は衣類のリサイクルに重点を置き、その量は増加しましたが、私たちはゴミの削減に向けた啓発活動の重要性を痛感しています。来年度も、引き続き「私たちにできること」を共有し、消費者の活動を進めていく予定です。



● つきがた design（道央圏 月形町）

事業の実施概要・活動成果

当団体は今年度、月形町の未来を考えるための「つきがた2030会議」や他市町村のまちづくり団体との交流イベント、「ハピネス座談会」、町民を対象とした「町民インタビュー」や若者の交流を促す「つきがた焚火会」「わんぱく水あそび」など、ボランティア活動として様々なイベントを実施しました。



新型コロナウイルスの影響で、イベントの打ち合わせは全て Web 会議システム「Zoom」を使用し、円滑に進行しました。また、一部のイベントではオンライン形式も導入し、コロナ禍でも積極的に活動しました。

今年度の活動から明らかになった課題は、若者の交流場所の不足、町民の外部との接点の限定、情報や学びの不足です。来年度は、これらの課題を解決し、住民コミュニティを活性化しながらまちづくり活動を進める予定です。

● もとむろランチ（道央圏 室蘭市）

事業概要・活動成果

当該事業では、室蘭市本室蘭中学校区の児童の孤食対策や同地区在住の独居高齢者の孤立対策を目指し、配食の提供、教育活動（図書配布など）、配食時の交流促進などの活動を行いました。

令和3年4月から2月までの期間に、毎月第4土曜日に合計11回のイベントを開催しました。ボランティアは計110人が参加し、児童は550人、高齢者は150人が参加しました。

● 縁ジョイ倶楽部（道南圏 函館市）

事業概要・活動成果

縁ジョイ倶楽部では、函館の歴史や文化などを観光客および市民に紹介することを目的として、主に4月から10月末までの期間、毎週土曜日に五稜郭公園で無料の案内活動を行っています。ただし、新型コロナウイルス感染症の流行により、令和3年度はこの活動を中止となりました。



そのような状況の中で、比較的コロナ感染症が収束した令和3年7月から11月にかけて、4回にわたって函館市民を対象に郷土の偉人「渡辺熊四郎ゆかりの地巡り」を限定人数で実施しました。参加者に対しては、函館の発展の経緯と歴史についての理解を深めることに貢献することができました。

また、令和3年4月から令和4年2月までの間には、例会や研修会などを合計20回開催し、会員の知識とガイド技術の向上を図りました。

● はこだて検定合格者の会（道南圏 北斗市）

事業概要・活動成果

函館歴史文化観光検定の初級合格支援講座は、興味のある市民を対象に開催され、今年で創立5回目の開催です。準備段階では会場予約や講座資料の準備が行われ、チラシやパブリシティの依頼も進められました。



講座は7月から9月中旬まで行われ、32名が参加しました。初級合格率は60%で、上級では1人がトップ合格を達成しました。募集チラシや新聞報道により、市民の関心が高まりました。受講生の合格実績と共に、良い成果を上げました。

● 江差手話の会（道南圏 江差町）

事業概要・活動成果

コロナ禍の中で、「手話だからこそできること」をメンバー全員で話し合い、今年度のクリスマス会で手話コーラスを披露することができました。助成金をいただけたおかげで、透明マスクなどの感染症対策グッズを用意することができました。これらを活用しながら、メンバー一同が手話コーラスの練習に励み、ついに披露できる形になりました。現況を



考慮して、クリスマス会には多くの人々を招待することはできませんが、私たちは活動を広く知っていただくために、普段の学習会で学びと練習を重ねてまいります。この度は私たちの活動を採択していただき、誠にありがとうございました。

● マージャンサロン（十勝圏 新得町）

事業概要・活動成果

メインの事業である麻雀は41回行われ、延べ利用者は411名です。麻雀実施日には1ゲーム終了後にはラジオ体操を行い、リフレッシュした後に2ゲーム目に臨みました。通常の麻雀以外には2度大会を行い、参加者全員で点数を競うこともありました。麻雀以外では、歯科衛生士による口腔衛生に関するお話や、栄養士による「薄味で血管を守ろう」という健康に関する講話、保健士による「血圧測定と健康相談」などの講演も行いました。



また、老人クラブとの共同事業として映画観賞会を開催し、消防署に講師を依頼して「119番通報の仕組み」についての講義や、社会福祉協議会に講師をお願いして「高齢化社会と介護予防」についての講演など、日常生活に役立つ情報を提供する機会を設けました。

● ふまねっと946（釧路・根室圏 釧路市）

事業概要・活動成果

釧路市内の6会場で、ふまねっと健康教室を9月1日から11月30日までの間に合計73回実施しました。

1. 橋南荘教室：毎週月曜日に12回実施しました。
2. 釧路市交流プラザよねまち：
毎週火曜日に合計12回実施しました。
3. 釧路市民活動センター：
毎週水曜日に13回実施しました。
4. 多世代型地域交流拠点「笑顔のニュータウン」：
毎週木曜日に合計12回実施しました。
5. 城山地区会館：毎週金曜日に合計12回実施しました。
6. 釧路市交流プラザさいわい：毎週土曜日に合計12回実施しました。



コロナ感染拡大の中でも、感染予防策を徹底して実施しました。予定された参加者数を上回る多くの受講生が参加し、高齢者の健康増進をコロナ禍の中でも実現することができました。

● E-Photo Club（釧路・根室圏 標津町）

事業概要・活動成果

新型コロナウイルスの影響により、医療従事者や自治体職員が所属するクラブの活動が制限され、例会や写真教室、撮影会などがオンライン化となり、活動が縮小されています。

しかし、その中で町立病院の職員廊下が暗く、古い絵画が飾られていることが問題となりました。そこで、地元の風景や動物の写真を展示する企画が実現しました。

関係者からは喜びの声が寄せられ、病院関係者や一般の町民からも高い評価を得ました。クラブは活動制限の中でも地域貢献を続け、将来的には例会や写真教室を通常通り行い、展示写真の入れ替えも予定しています。



● 産前・産後ヘルパーあ~ちゃんの手（道北圏 旭川市）

事業概要・活動成果

1. 産前・産後ヘルパーのあ~ちゃんは、旭川市公的サービスでは対応できないニーズに柔軟に対応しています。個別のニーズを傾聴し、20回以上の支援や産後1年以上の幼児期の支援を提供しています。活動成果は対象期間中194回の支援が行われました。

2. 有償ボランティアのヘルパーを獲得し育成することで、妊産婦が気軽に援助を受けられる環境を整えています。地域の中で助け合いながら子育てができる社会環境を目指しています。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少し、獲得したヘルパーも利用回数が少なかったため、登録解消が生じました。

3. 産前・産後ヘルパー事業は旭川市子ども総合相談センターと連携し、全ての妊産婦に周知されるようにしています。虐待の可能性のある利用者に対しては情報提供し、学校や保育園、児童相談所、病院などと連携して包括的な情報共有と支援を行っています。活動成果として、虐待の疑いがある1件の利用者に対して訪問調査を実施し、情報を共有しました。また、家庭状況が不安定な家庭にも継続的な訪問支援を行い、生活面でのサポートを提供しています。

● dream café&手話カフェ（道北圏 旭川市）

事業概要・活動成果

Facebook や Instagram などの SNS で40回の情報発信が行い、合計12回のイベントが開催しました。その中で、北彩都ガーデンセンターでの10回の開催、トーク班による1回の開催、耳の日のつどいでの1回の開催が含まれます。参加者数は4月18日の48名から始まり、5月16日には36名、7月18日には40名、8月15日には22名、9月5日には26名、11月14日には27名、12月11日には30名が参加しました。さらに、12月12日と12月25日には研修会での販売が行われ、12月26日には45名が参加し、12月20日の耳の日には60名、12月27日には32名が dreamcafé での交流場所を利用し、「黙食」や「手話で会話」を楽しむことができ、コロナ禍においても交流の場を提供することができました。

● 上川中部定住自立圏 手話サークル連絡会 華咲手（道北圏 旭川市）

事業概要・活動成果

上川中部定住自立地域への手話普及ボランティア活動として、当初は令和3年9月23日に比布町で屋外での実施を予定していましたが、コロナ禍の影響により予定通りの実施が困難となり、日程が変更されました。

変更に伴い、屋内での実施となりましたので、マスクの着用、手指の消毒、換気など感染防止に十分な配慮をしました。鷹栖町の「風神窯」にて片山兵衛氏の指導のもと、陶芸体験を行いました。初めて体験する参加者も多く、片山氏の説明に熱心に耳を傾け、真剣に取り組んでいました。途中で片山氏から直接指導を受けながら、自分が作りたい作品を理想通りに仕上げるために頑張りました。

聞こえない方には、片山氏の説明を松原代表が手話で通訳し、個人的な質問には近くにいる方が通訳するなど、手話を通じて楽しく交流しながら作品作りを行いました。終始和やかな雰囲気の中で聞こえない方とコミュニケーションを取りながら活動しました。

● 富良野市青少年サークル「ね〜びる」（道北圏 富良野市）

事業概要・活動成果

新型コロナウイルス感染症の拡大により生活困窮し、生理用品が手に入らない女性が増えています。

この問題に対応し、富良野市内の高校と専門学校の学生を対象に、生理用品の無料配布会を開催しました。当日はね〜びる会員の6名が女性のニーズに配慮しながら対応し、チラシと引換券を配布しました。

SNS や友人への電話などで情報を広めましたが、高校のテスト期間が始まっていたため宣伝が遅れ、学校のスケジュール把握に課題となりました。

● 当麻町手話くらぶ（道北圏 当麻町）

事業概要・活動成果

北海道手話サークルブロック交流会は、オンラインと併用して開催しました。

当麻町が今年度の担当地域で、上川・留萌・宗谷のブロックが参加しました。講師には伊藤喜幸さんが北海道ろうあ連盟から派遣されました。

オンライン開催でしたが、申込が予想以上に多く、参加者から喜びの声が寄せられました。参加者は講演を聴いた後に自己紹介を行い、ブロックのメンバーと再会できたことは有意義な時間でした。

来年も仲間と共に手話を地域に広める活動に取り組んでいきます。



● 比布町手話くらぶ（道北圏 比布町）

事業の実施概要・活動成果

令和3年度の「町民文化祭」には、比布町文化連盟の加盟団体として参加しました。通常行われる芸能発表は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、代わりに各団体の活動を紹介するコーナーに手話くらぶの拡大スペースが用意されました。この機会を通じて手話言語の啓蒙と手話くらぶの活動を紹介でき、コロナ禍ではありますが、多くの町民の方々に足を運んでいただき、少しでも手話に興味を持っていただけたのではないかと思います。

● リーシリーごみバスターズ（道北圏 利尻町）

事業の実施概要・活動成果

リーシリーごみバスターズは、利尻町で吸い殻のゴミ拾い活動を開始しました。予想に反して、観光地ではなく地域住民が利用する場所に多くの吸い殻が捨てられていました。しかし、2か月の活動を経て、捨てられる吸い殻の量が減少していました。定期的なゴミ拾いによって場所が清潔になり、現地でのゴミ捨てに対する心理的な抵抗が高まったと考えられます。また、休日の朝に清掃活動を行い、地域住民との交流も増えました。地方新聞にも取り上げられ、地域への啓蒙活動を広めることができました。今後は活動を継続し、参加者を増やすことに焦点を当てた活動を展開します。



● 外遊びプロジェクト てのひら（オホーツク圏 北見市）

事業の実施概要・活動成果

5月には、どろんこあそびの準備のためにメンバーの子どもたちが練習を行いました。実施は新型コロナウイルス感染のため中止となりました。

しかし、7月に再企画され、22日にどろんこあそびのイベントが開催されました。参加者は水や泥で遊んだり、葉っぱをすりつぶしたりしながら、自由に楽しみました。また、9月には仁頃山の子ども登山が行われ、参加者は各自の能力に合わせて楽しむことができました。

11月には野付牛公園で段ボールや落ち葉での遊びイベントが実施され、焚火の薪割りや段ボールハウスの解体なども楽しめました。

そして、2月には野付牛公園で雪遊びが実施され、参加者は道やソリコースの設置やかまくら作りなど、多様な遊びを楽しんでいました。主催者や参加者、子どもたちと大人たちの垣根を超えて、共同で遊びの場を作り上げる姿勢が成果として実感できました。

